



## 秋の天王山ウォーキング 2022



10月22日(土)、3年ぶりに開催することができた「秋の天王山ウォーキング」は、歩くのにちょうど良い適度な気温と天候のもと、95名のお客様をお迎えました。

私は歴史資料館の館内ガイドを他の2名とともに行いました。企画展がこの日から始まり、水曜日に関連資料はいただいていたものの展示品と展示場所を見ることができたのはお客様を案内する10分前でした。事前に予想していた展示方法と異なっていたため、大きな展示品を中心に何とか説明することは

できましたが、お客様に十分伝わらなかったのではないかと反省しています。また説明をしていると時間の経過がわからず、調整役から早くとの催促を受けることが数回ありました。

館内ガイドを終えてからは、ガイド風景を撮るため、先に出発していた組々を追いかけいき、ガイド場所に先回りしたり、次の組を待機したりと行ったり来たりして何枚かの写真を撮影することができました。

スタートからゴールまで好天に恵まれ暑くも寒くもなく、ほんとうにウォーキング日和のなかでお客様にも満足していただけたのではないかと思います。皆さまお疲れ様でした。

(1班 三宅秀輝 記)

## ～わたし こんなん しています～

### 多趣味でいろんなことしてます

単身赴任時、暇を利用しているような趣味を取得。大山崎に帰省していた時、千葉の大学生の方から聴竹居の質問を受けましたが、当時の聴竹居はまだ閉鎖され勝手口側の小さな階段のところに立ち入り禁止の札があったため、間違っただけで妙喜庵を案内してしまうという恥をかき、大山崎の歴史を勉強する気になりました。近所の方の勧めもあってガイドの会に入会。今日の日課は朝、畑に出て水やり他、7時には孫の通学「あっしい」君の傍ら暇があれば趣味の手芸、なかなか出来ませんが。

月1回のゴルフ、2回目の大腸癌の手術の後、なぜか飛距離upスコア90前後に。ちなみに紙細工・切り絵、立体切り絵、ちぎり絵、たばこの空き箱等でミニチュア傘、伊勢型紙、ビーズアクセサリー・スワロスキーでブローチ、ペンダント、ネックレス等々。竹細工・竹とんぼ各種・木工細工・各種ミニカーそのほか絵皿、印鑑、手品、しめ縄作り。

興味のある方は声をかけてください。独学の我流ですが楽しんでしています。(1班 奥西正明 記)

### クライマーではなくマウンテニア

私は77歳。シルバー人材センターの紹介で、町体育館にて週3程度、夜間勤務をしています。家内は居宅介護支援事業所の事業主・ケアマネージャー。という事で、私が主夫。片付け、食器洗い、洗濯物の取り入れ等々、毎日切れ目なく動いている。改めて主婦の家庭内での仕事の大変さを認識した。遅いけれど。

私の趣味は山歩き、読書、記念品集めなど。かつて深田百名山の100座登頂をなし、日本山岳会の三百名山も過半数を超える登頂を果たした。現在は天王山専門家になっている。「日本に他の山はないのか」と仲間にも笑われている。適度な運動が老化防止、ボケ防止にと、毎日1万歩の歩きをしています。山歩きは往路と復路のコースを違って歩きたい。そうすれば細やかな発見が有ると思います。地球温暖化のせいで、草木の伸びが激しくて、各所の展望所は視界が妨げられています。人間への警告でしょうね。一人一人が細やかながら、地球環境に気をつかいたいものです。(2班 澤田僚一 記)

## OFG 歴史講演会

### 「秀吉の城づくりー山崎城から京都新城まで」

9月23日、大山崎町歴史資料館館長の福島克彦氏の講演を聴いた。

その内容は、歴史史料を読む難しいもので、配布されたレジメにそって話をしたい。

#### 1. 山崎城の構築

多聞院日記では天正10年9月、筒井順慶が上洛し「山崎財寺城」の秀吉を訪問。秀吉事記には秀吉が「山崎上」に城を築き、五畿内を治める事を意識したとあり、秀吉の山崎城は「宝寺のうえに城をかまへ」と伝えられる。

#### 2. 京都と聚楽・伏見

天正14年4月に聚楽を着工したが文禄4年7月、秀次事件により破却。慶長2年7月、京都四条に「太閤新構」(京都新城)を構築。江戸時代の伝承では千洞御所の場所。城の構造として「神殿」「広縁」「城之矢倉」「南面御門」「内屏」などが存在。伏見城や京都新城について私は殆ど認知していなかったのが勉強になった。(2班 澤田僚一 記)

## あちこち学習山歩 61 大文字山



9/26 快晴、銀閣寺前に集合、14名の参加がありました。軽いストレッチ体操をすませ、各自飲み物を確認しました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが当日は残暑厳しい一日でした。

大文字は、お盆の五山の送り火で最初に点火される「大」の火床。330mを目指して、ゆっくり登り始めました。「大」の字の一画二画の端の場所に今立っていますと説明を聞き、276の階段を登り切ると頂上、素晴らしい京都市街地が遠くまで広がり、左大文字、船形、妙、法と見る事ができました。

60年前リフトがないとき護摩木を学生さんがアルバイトで担いで登った話や過去には火床でバーベキューをしたと言うとんでもない事件もあったことなど、山名人のお話を聞くことができました。

参道前のお店でソフトクリームを頂き、お互い元気に下山できたこと感謝しました。五山を巡る次の回の提案も出ました。(3班 澤田裕子 記)

## 特別寄稿 木村嘉男様のご逝去を悼んで

木村嘉男様が9月5日に逝去されました(享年87歳)。

故人はガイド養成講座の1期生で、平成8年「大山崎ふるさとガイドの会」の設立時より、会の組織作りやガイドの手引きの作成等にご活躍されました。又、「洛中ウォーキング」を企画され京都の歴史遺産を案内されました。健脚で楽しい思い出が沢山あります。

27年間、常に現役でした。今後も木村様のご意志を受け継ぎ、会が発展出来るよう、会員一同取り組んで参りたいと思います。(4班 池田 弘 記)

